



平成30年11月吉日

関係各位

一般社団法人 日本自動車車体補修協会  
(旧名称：一般社団法人日本自動車補修溶接協会)

## 事業領域の拡張とそれに伴う団体名称の変更について

一般社団法人日本自動車補修溶接協会（Japan Automobile Repair Welding Associate、略称：JARWA）は、平成30年10月25日の定時総会における満場一致をもって、事業領域を自動車補修溶接から自動車車体補修全般へと拡張することとなりました。それに伴い、団体名称を一般社団法人日本自動車車体補修協会（Japan Autobody Repair Work Association、略称：JARWA、以下JARWA）（代表理事：吉野一）に変更しましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 目的

JARWAは、自動車車体補修に関する研究、開発及び調査をもとに自動車車体補修の信頼の向上及び正しい補修技術の普及を図り、もって我が国産業の振興及び発展に寄与することを目的としています。

#### 2. 経緯

JARWAの設立主旨は「自動車車体補修における信頼性の確保」です。その実現手段として各種の規格化・標準化を行うことを責務としていますが、設立にあたり、先ずは当時喫緊の課題であった補修溶接の安全性の確保に特化した標準化活動を行う必要があったことから、対外的なわかりやすさを優先し、名称に「溶接」と表記することとなりました。具体的な活動としては、補修スポット溶接機の識別番号判定試験や定期点検に関する規格の作成及び公開、会員向けWEBサービスを通じた補修スポット条件に関する情報の作成及び提供、アーク溶接を含む補修溶接関連の教材の作成及び提供などを行っております。

今般、溶接関連の事業に一定のめどが果たしたことから、車両の高度化の加速を踏まえ、設立主旨に即する形で事業領域を自動車車体補修全体へと拡張し、併せて団体名称を変更することとなりました。

#### 3. 今後の事業活動

工業標準化法の改正（2018年5月30日公布、2019年7月1日施行）により、日本国内における標準化作成プロセスのルールが大きく変更となりました。JARWAは、組織内に網羅的なステークホルダーからなる産業標準作成委員会を設置し、新たなプロセスに基づく自動車車体補修の安心安全に資する各種の標準化活動を行ってまいります。

車体補修部会、ガラス部会、タイヤ部会、人材部会、情報部会などを設置し、関連する正会員とともに車体補修の安心安全を全方位で実現するための調査・研究及び対外的なサービス提供などを行ってまいります。

以上

一般社団法人 日本自動車車体補修協会	担当事務局 飯塚
東京都千代田区神田佐久間町4-6 齋田ビル5F	TEL)03-5829-4811 FAX)050-3153-2056